

带状疱疹ワクチン接種に補助!

介護保険料…基準世帯で64,800円→75,600円に

「学校給食費無償化を求める」
 請願を全会一致で採択!

2月14日から3月18日までおこなわれた春日部市3月定例市議会会で、市長提出議案38件はすべて可決成立しました。

日本共産党市議団は一般会計予算など11件に反対し、学校給食費無償化、低所得者の介護保険料すえおきなどの予算修正案を提案しました。
 (下表)

2024年度の新規事業として、带状疱疹ワクチン接種に4000円補助、がん患者ウィッグ購入補助などが実現しました。一方、介護保険料は基準世帯(本人非課税)で年間1万800円もの大幅値上げとなりました。

市民からの請願「学校給食費の無償化を求める請願」は全会一致で採択されました。

「裏金真相究明」を否決!?

日本共産党市議団は、4件の国への意見書を提案し、「能登半島地震の被災者救援の抜本的強化を求める

意見書」が全会一致で採択されました。国民の怒りが広がる「裏金真相究明」に背を向ける市政はきびしく問われます。



請願と党市議団提案の意見書に対する各会派の賛否

	請願	党市議団提出の意見書等				
		小中学校給食費の無償化	給食調理室にエアコン設置等の改善	地震被災者救援策の抜本的強化	公共交通の充実	食料自給率向上
○ 賛成 × 反対						
日本共産党 (4)	○	○	○	○	○	○
自民・無所属の会 (8)	○	×	○	×	×	×
次世代かすかべ! (6)	○	×	○	×	×	×
公明党 (6)	○	×	○	×	×	×
立憲民主党 (1)	○	×	○	○	○	○
日本維新の会 (1)	○	×	○	×	×	×
無所属	(榛野)	○	×	○	×	×
	(酒谷)	○	○	○	×	○
	(古沢)	○	○	○	×	○
結果	○	×	○	×	×	×

日本共産党の修正案

- 学校給食費無償化 9億1,641万円
- 介護保険料 低所得者は値上げしない 2億7,495万円
- 子どもの国保税18才まで免除 1億 400万円
- 公民館使用料無料化 3,544万円
- 77才に敬老祝い金1万円贈呈 3,307万円
- など

※財源は前年度くり越し金・介護保険準備基金を活用

日本共産党市議団の一般質問



今尾やすのり

内牧5033-1
グリーンパーク春日部1-111

TEL 090-1032-4833

災害に強い春日部に

能登半島地震の最大の教訓は、「災害は想定を超える」という事です。水やトイレの備蓄品を増やすこと、プライバシーの守れる避難所運営を求めました。

市内では水害時、利根川と江戸川の同時決壊を想定した場合、市のハザードマップでは水没しない広い面積が残るのは内牧地区だけです。内牧公園近くの高台に通常は公園駐車場として、水害時は車で避難せざるを得ない方たちの緊急一時避難場所の整備を求めました。

国の対応の遅れが指摘されています。イタリアの市民保護庁のように専門省庁の設置を国に求めるよう市長に求めました。

備蓄品については見直していくことは必要と答弁がありました。



大野とし子

東中野568-1

TEL 090-7843-4945

空きスペースも活用し、庄和総合支所の利便性向上、充実を

庄和総合支所は、新庁舎の開庁により下水道部、公園緑地課が移転しました。そのスペースを利用して、令和6年度より成人検診、乳幼児健診を行っていくことが決まっています。乳幼児健診を行っていくのであれば、総合支所の福祉、健康保険担当と連携し、子育ての相談が日常的に行えるように保健師の配置を求めました。また、配置が難しい場合でも、オンラインによる相談ができるようにして、市役所へ行かなくても相談ができ、安心して子育てができる環境を整えることを求めました。

また、今後空きスペースを市民のために活用として、利便性の向上を図るべきと考えるが、どのように活用していくのかを問いました。

市民生活部長は「保健師の配置は、全体のバランスもあり難しいが、オンラインによる相談は、市としての取り組みの中で検討していきたい。今後の利用については、市民の皆さんの利便性の向上につながる取り組みを考えていきたい」と答弁しました。

○災害時に、要配慮者が安心して避難できる体制を



並木としえ

大場374-1

TEL 090-3916-0168

児童虐待ゼロ 安心して子育てできる春日部に

春日部市では2021年に2件の乳幼児虐待死事件が発生しました。

児童虐待は、拒否・抵抗できない幼いこどもの人権を著しく傷つけるもので、絶対に許されません。多くが家庭内で起こるため発見されにくく、「生まない・見逃さない対策」が必要です。

4月からこども家庭センターが本格稼働することを機に「児童虐待ゼロ・安心して子育てできる春日部に」と求めました。

こども未来部長は、こども家庭センターの役割について「個々の家庭の課題やニーズに対応するため、その家庭に適したサポートプランを策定し、支援」と同時に「すべての妊産婦・子ども子育て世帯に切れ目なく、もれなく支援をおこなう」と説明し、「これまで以上に児童虐待の発生防止・早期発見につとめたい」と答弁しました。

○公民館の充実・改善と使用料無料化を



木下みえ子

一ノ割1270-11

TEL 050-3559-1640

市民の声を生かした地域交通施策を

第4次春バスは既存の多くの路線が廃止され、交通空白地域が市全体で49%となりました。市から自治体に説明会をおこない、回覧などで周知をはかりましたが、新事業の春タク実証実験やルート改編について地域住民へ十分に周知されず、また、交通空白地域への代替の施策が示されていません。

市民の交通権を保障するために、新しい技術を活用した乗り合いのデマンド交通などの多様な交通施策について、市と市民が協働して取り組むことを求めました。

また、廃止された地域への早急な改善と、誰一人取り残さない誰もがいきいきと暮らせる地域を作るために、市民の声を生かした交通施策を市長に求めました。

市長は、「第4次春バスは始まったばかりなので改善については一定期間運行、検証すると共に、地域の方々のご意見やご協力もいただきながら、地域公共交通活性化協議会において、よりよい施策の検討を行います。」と答弁しました。

○一ノ割地域を安心安全に